

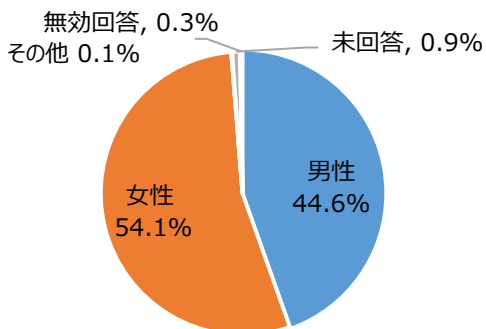
# 木崎地区 防災まちづくりアンケート 結果 (概要版)

## 1. アンケート実施概要

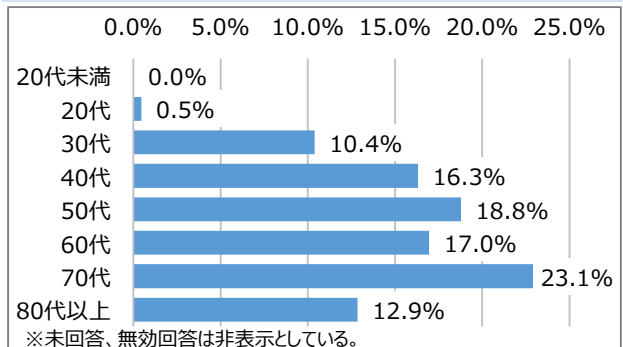
項目	内容
目的	木崎地区の防災・減災に向けた取組を検討するために木崎地区住民の防災まちづくりに対する意見を把握し、木崎地区の今後の住みよいまちづくりに役立てることを目的に実施する。
調査時期	令和3年9月30日(木) 配付～令和3年10月26日(火) 締切
調査方法	アンケート調査(ポスティング配付・各組の組長へ提出)
対象者	木崎自治協力会世帯(2,451世帯)に配付
設問内容	①回答者基本情報(問1～問6) ②防災に関すること(問7～問19) ③木崎地区に対する具体的な意見(問20～問21) ④木崎地区の望ましいまちづくりの方向性について(問22～問26) ⑤その他、自由意見(問27)
配付数	配付数：2,451世帯
回収結果	回収数：1,097世帯 (回収率：44.8%)

## 2. 回答者基本情報

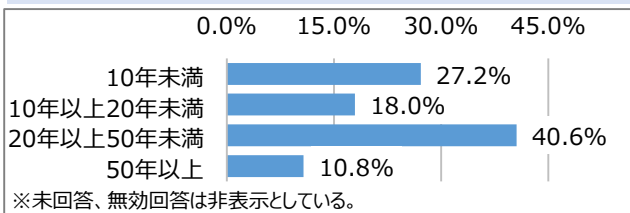
### 問1 性別



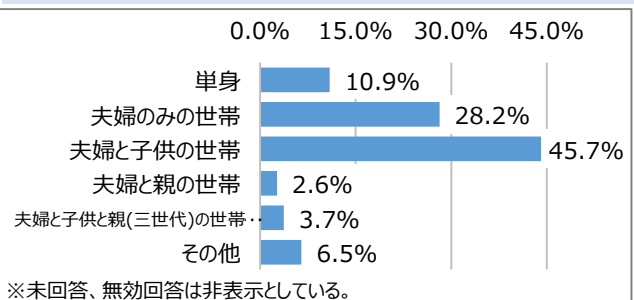
### 問2 年齢



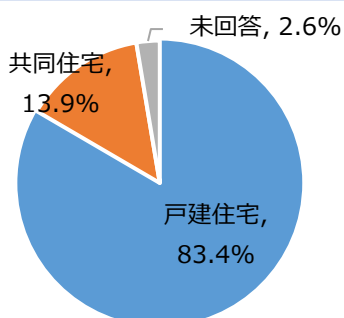
### 問3 居住年数



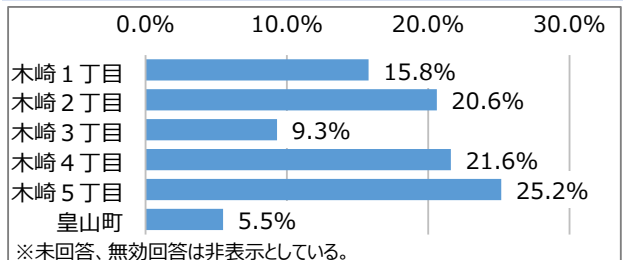
### 問4 家族構成



### 問5 居住形式



### 問6 居住地域



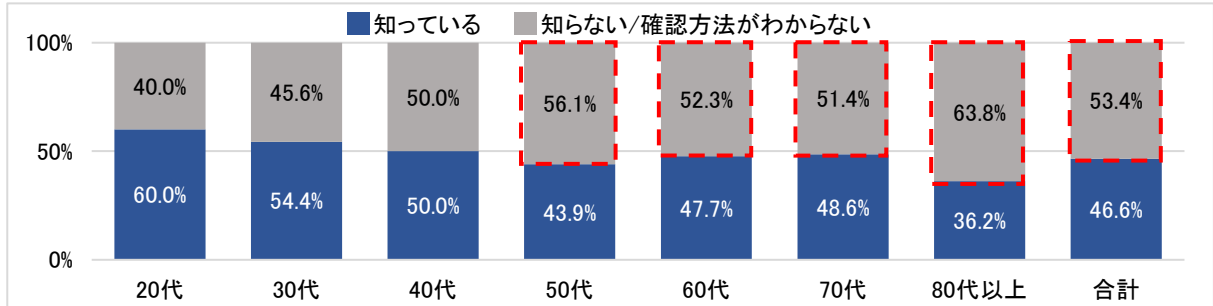
### 3. アンケート結果のポイント

#### (1) 防災に関すること

##### ■ 災害リスク（延焼リスクなど）について、分かりやすい情報提供が必要である。

- ・木崎地区の災害リスクについて、「知らない」又は「確認方法がわからない」が半数以上を占めている。  
⇒年齢を問わず伝わりやすい情報を提供する。（「防災まちづくりだより」の発行など）

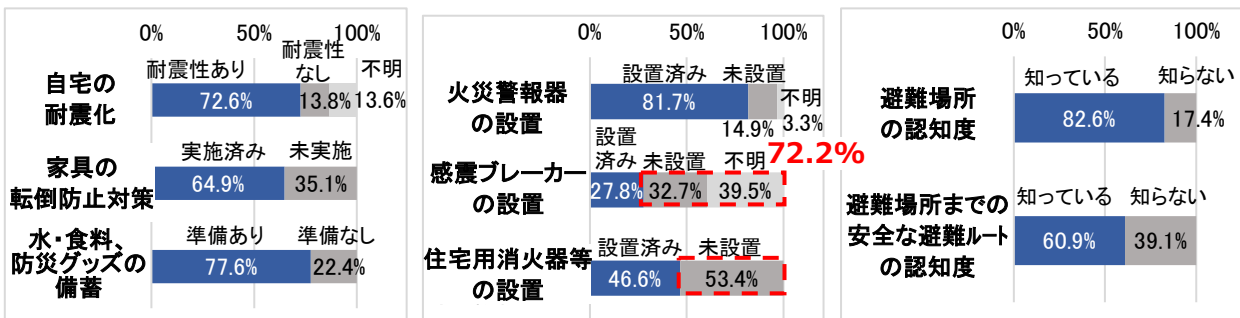
##### 【災害リスクの認知度】



##### ■ 防災や避難に関する情報発信が必要である。

- ・感震ブレーカーと住宅用消火器等の設置が少ない。⇒設置を推奨。
- ・その他の家庭での備え(耐震化、備蓄等)は6～8割の方が実施済み。  
⇒個人でできる重要な防災対策があることを周知。
- ・避難場所の認知度は8割に対して、避難場所までの安全な避難ルートの認知度は6割。  
⇒防災訓練等を通じて、地区内の安全な避難ルートを身に付けてもらう。

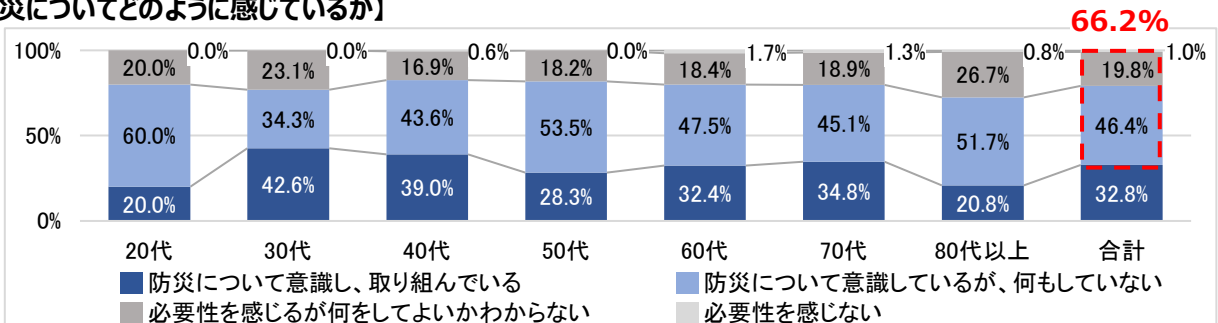
##### 【家庭での災害に対する備えの状況】



##### ■ 防災に取り組んでいない方への情報発信や活動への参加の呼びかけが必要である。

- ・「防災を意識しているが何もしていない」が4割、「必要性を感じるが何をしてもよいか分からない」が2割いる。  
⇒自宅でできる防災対策の情報発信や地区の防災活動への参加を呼びかける。

##### 【防災についてどのように感じているか】

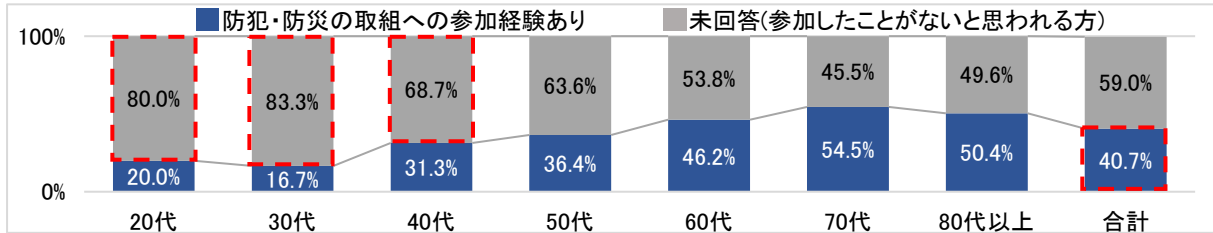


■ 若い世代を中心に、木崎自主防災会の防犯・防災の取組への参加促進が必要である。

・木崎自主防災会の防犯・防災の取組への参加経験がある方は約4割。

⇒地区の防犯・防災の取組への参加促進を図る必要がある。(特に若い世代)

【木崎自主防災会の防犯・防災の取組への参加について】



(2) 木崎地区の望ましいまちづくりの方向性について

■ 住環境の課題として、公園・広場の少なさ、建物の密集状況、道幅が狭い点などを行政と協力して解決する必要がある。

■ 地区の魅力である「閑静な住宅地」、「買い物環境」などを活かしたまちづくりを進める必要がある。

【木崎地区の住環境について問題と感ずるもの】

- みどり **第1位** 公園・広場が少ない (46%)
- 建物 **第1位** 建物が密集している (49%)
- 道路 **第1位** 道幅が狭い (75%)  
**第2位** 見通しが悪い (33%)  
**第3位** 歩行者が安全に通行できない (30%)

【木崎地区の魅力】

- 第1位** 静かで落ち着いたある住宅地 (52%)
- 第2位** 買い物環境の充実 (43%)
- 第3位** 公共交通の利便性の良さ (25%)
- 第4位** 自然環境の豊かさ (23%)

(※回答率20%以上の選択肢を抽出)

■ まちづくりの方向性として「犯罪のない安心さ」、「公共空間の充実」、「災害への安全性」が求められている。

■ 災害に強いまちに関しては、特に、「緊急車両が乗り入れられるまちづくり」、「燃え広がりにくいまちづくり」等のハード整備が求められている。

⇒一方で、「地域コミュニティの活性化」、「防災力を向上させるまちのルール作り」等の共助につながるソフト対策を必要だと感じている人が少なく、ハード整備と合わせてソフト対策を行っていく必要がある。

【木崎地区のまちづくりの方向性】

- 第1位** 犯罪のない安心して暮らせるまち(58%)
- 第2位** 道路・公園など公共空間が充実したまち (39%)
- 第3位** 災害に強い安全なまち (31%)

【災害に強いまち、良好な住環境のために必要なもの】

- 第1位** 緊急車両が乗り入れられるまちづくり (41%)
- 第2位** 燃え広がりにくいまちづくり (32%)
- 第3位** 避難場所や防災設備の充実 (27%)

■ 回答の割合が10%以下の項目

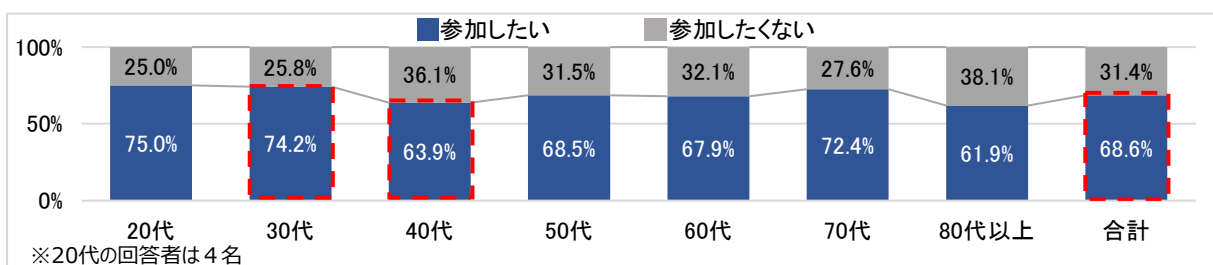
- ・防災活動が活発なまちづくり
- ・地域コミュニティの活性化
- ・防災力を向上させるまちのルールづくり
- ・行き止まり道路の改善

■ 若い世代を含む地区住民がまちづくりに参加できる場や機会を設ける必要がある。

・今後のまちづくりに参加したい方が6割～7割を占めている。

⇒特に防災・防犯の取組に参加が少ない30・40代についても参加意欲が高いため、若い世代を含めて木崎地区のまちづくりに参加できる場や機会を設けることが必要。

【今後の安心・安全なまちづくりに参加していきたいか】

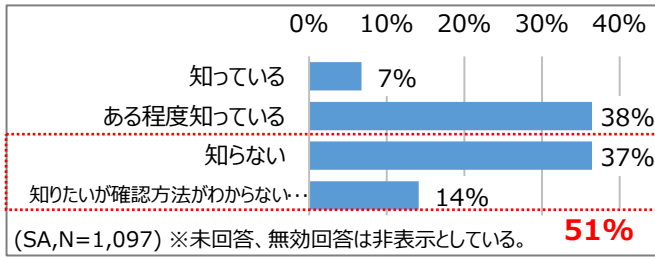


### 3.1. アンケート結果一覧

(SA：択一回答、MA：複数回答)

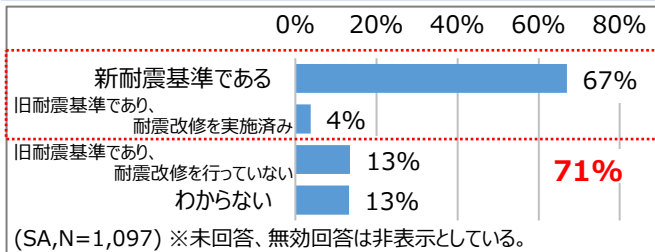
#### (1) 防災に関すること

##### 問7 木崎地区にどのような災害リスクがあるか知っているか。



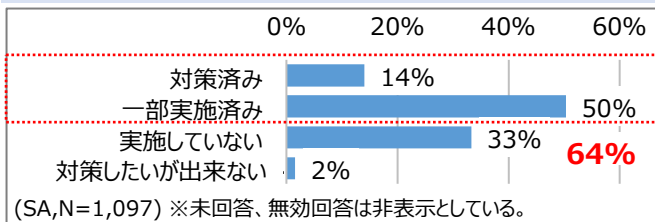
**木崎地区の災害リスクについて「知らない」又は「確認方法が分からない」方が約半数いる！**

##### 問8 ご自宅は耐震化されているか。



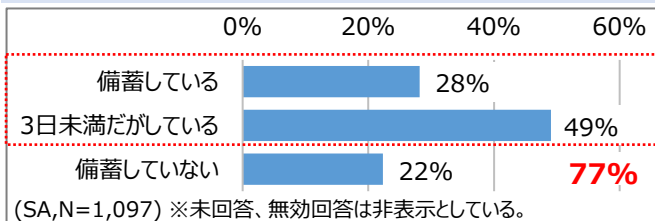
**耐震性が確保されている住宅が約7割！**

##### 問9 家具の転倒防止対策を実施しているか。



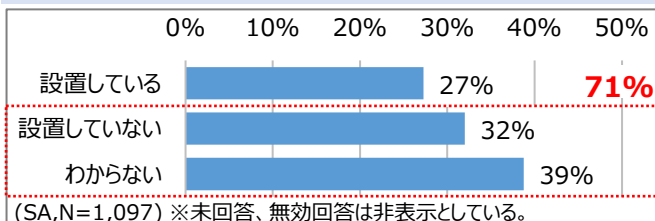
**転倒防止対策を実施している方が6割以上！**

##### 問10 ご自宅に3日以上の水・食料や防災グッズを備蓄しているか。



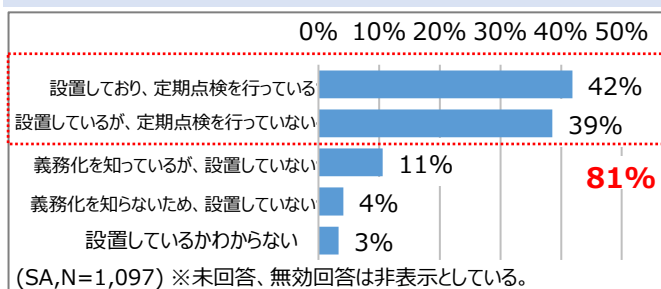
**備蓄している方が7割以上！**  
しかし、**3日未満の備蓄が5割**

##### 問11 ご自宅に、地震時に自動的に電気を遮断する「感震ブレーカー」を設置しているか。



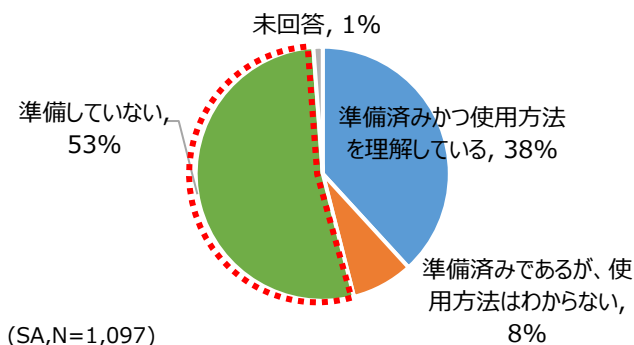
**感震ブレーカーを設置していない／わからない方が約7割！**

**問12 ご自宅の火災警報器の定期点検を行っているか。**



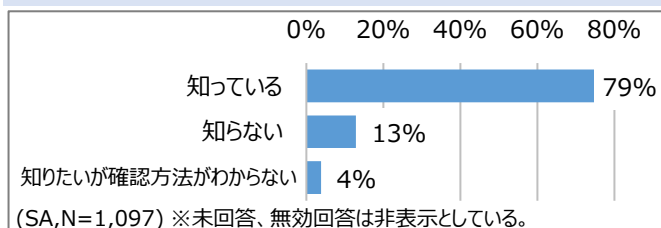
**火災警報器を設置している方が  
約8割！**

**問13 住宅用消火器等を準備しているか。また、消火器の使用方法はわかるか。**



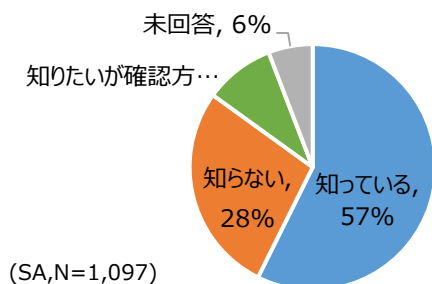
**住宅用消火器等を  
準備していない方が  
半数以上もいる**

**問14 災害時における避難場所を知っているか**



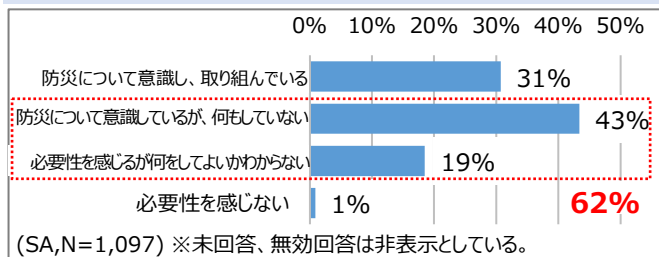
**避難場所を把握している人が  
約8割**

**問15 避難場所までの安全な避難ルートを把握していますか。**



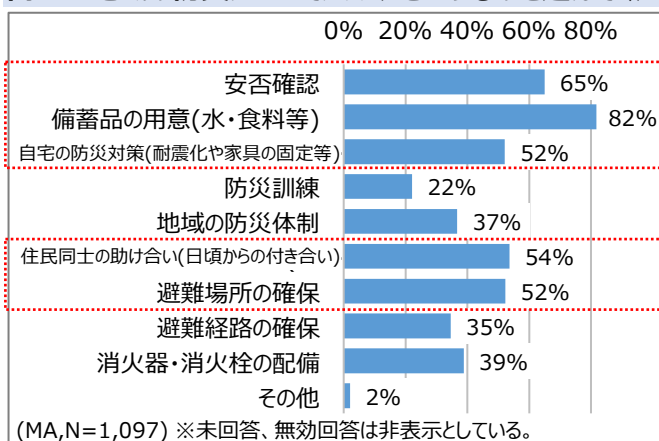
**避難場所までの  
安全な避難ルートを知っている方が約6割**

**問16 昨今の度重なる災害発生をうけ、防災についてどのように感じていますか。**



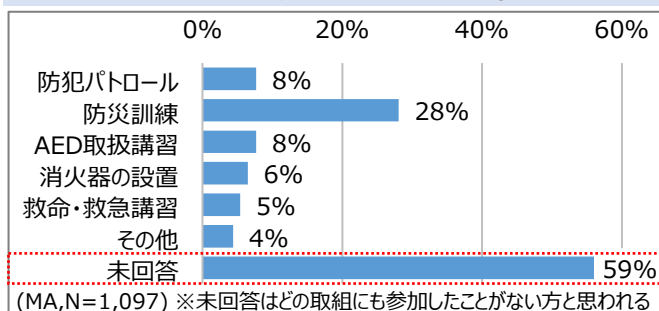
**防災について何もしていない方が  
6割を超える**

**問17 地域の防災について大切だと思うものを選んでください。【複数回答】**



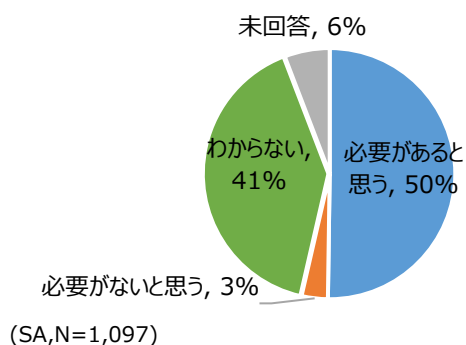
**第1位 備蓄品の用意**  
**第2位 安否確認**  
**第3位 住民同士の助け合い**  
**第4位 自宅の防災対策**  
**避難場所の確保**

**問18 木崎自主防災会の防犯・防災の取組で参加したことがあるものを選択してください。【複数回答】**



**防災訓練への参加が約3割**  
一方、**どの取組にも参加したことが  
ないと思われる方が約6割**

**問19 木崎地区は、防災性を高める必要があると思われますか。**



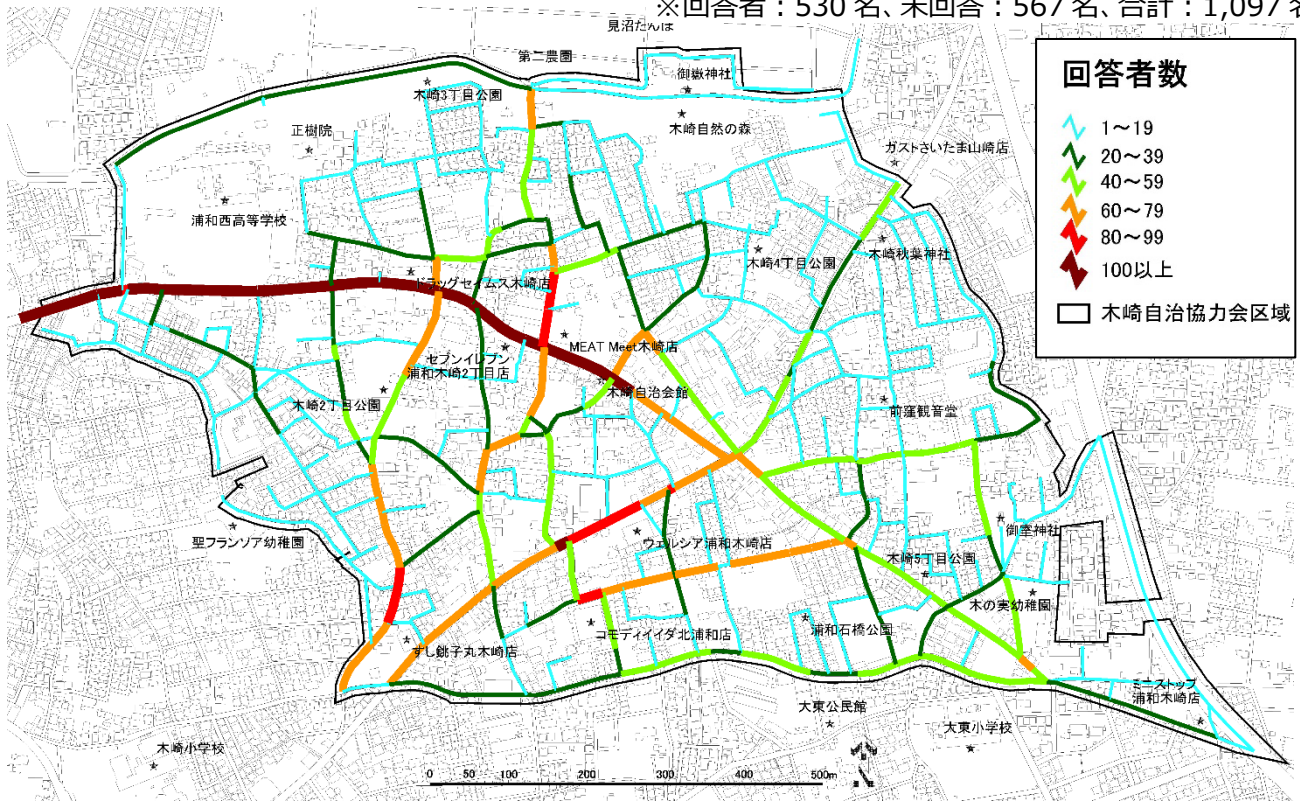
**防災性を高める必要がある  
と思っている方が半数！**



## (2) 木崎地区に対する具体的な意見

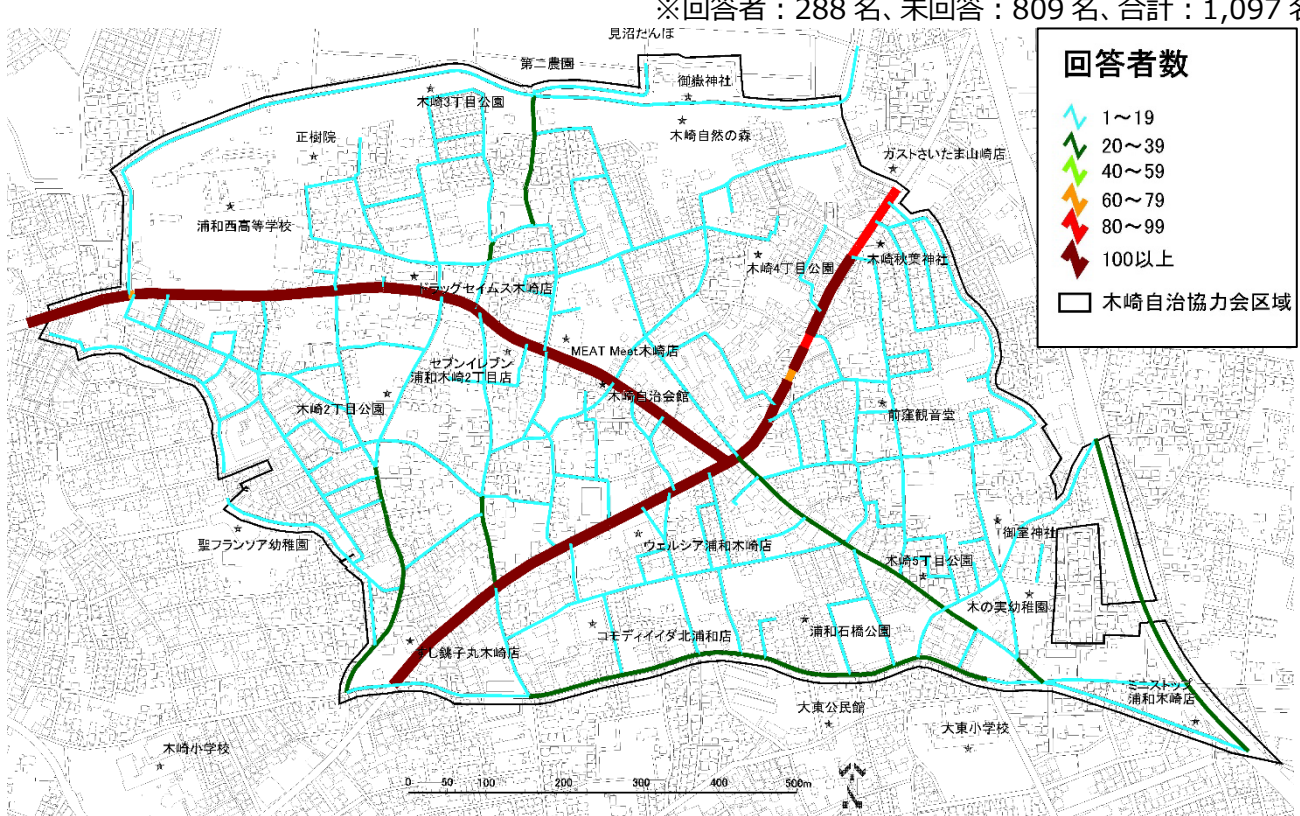
### 問20-1：徒歩や自転車で、普段よく使う道

※回答者：530名、未回答：567名、合計：1,097名



### 問20-2：自動車で、普段よく使う道

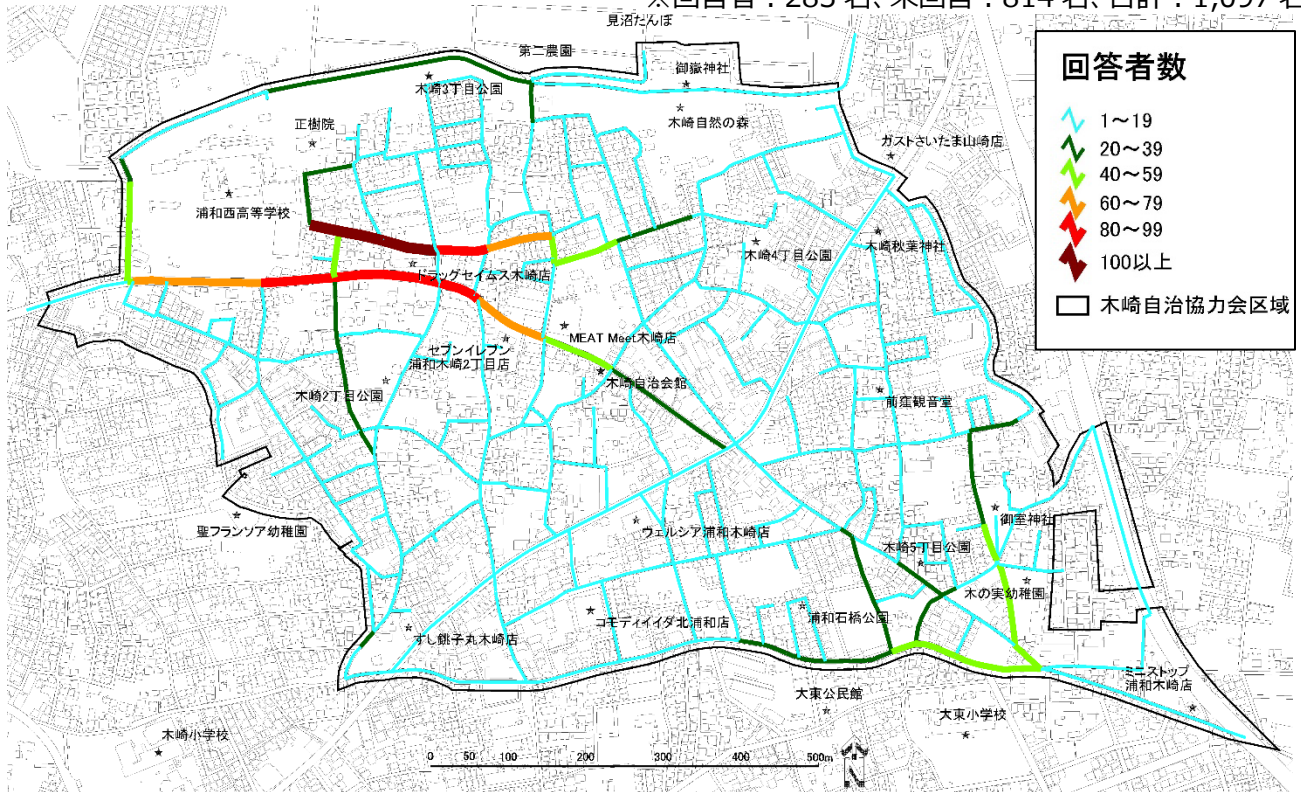
※回答者：288名、未回答：809名、合計：1,097名





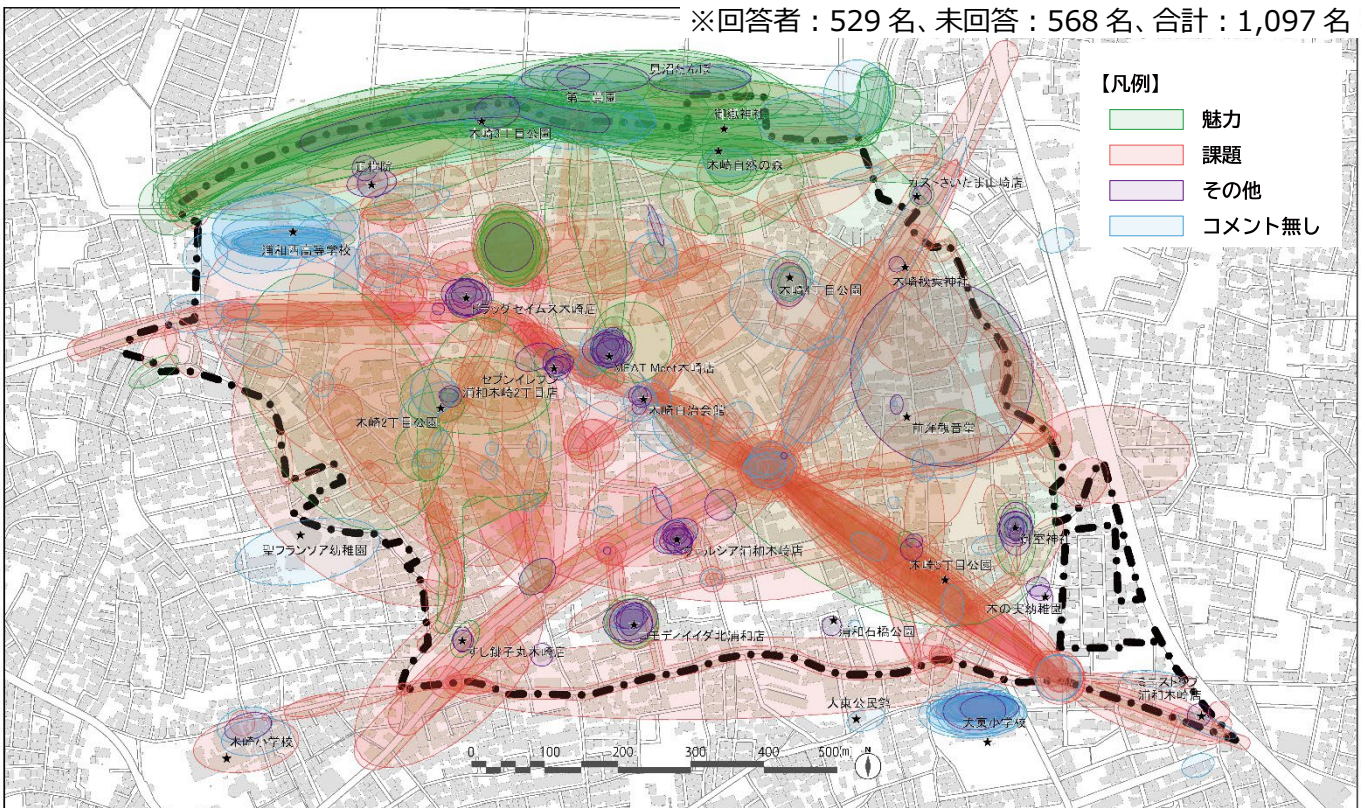
問20-3 : 火災等の災害時、避難に使おうと思っている道

※回答者 : 283 名、未回答 : 814 名、合計 : 1,097 名



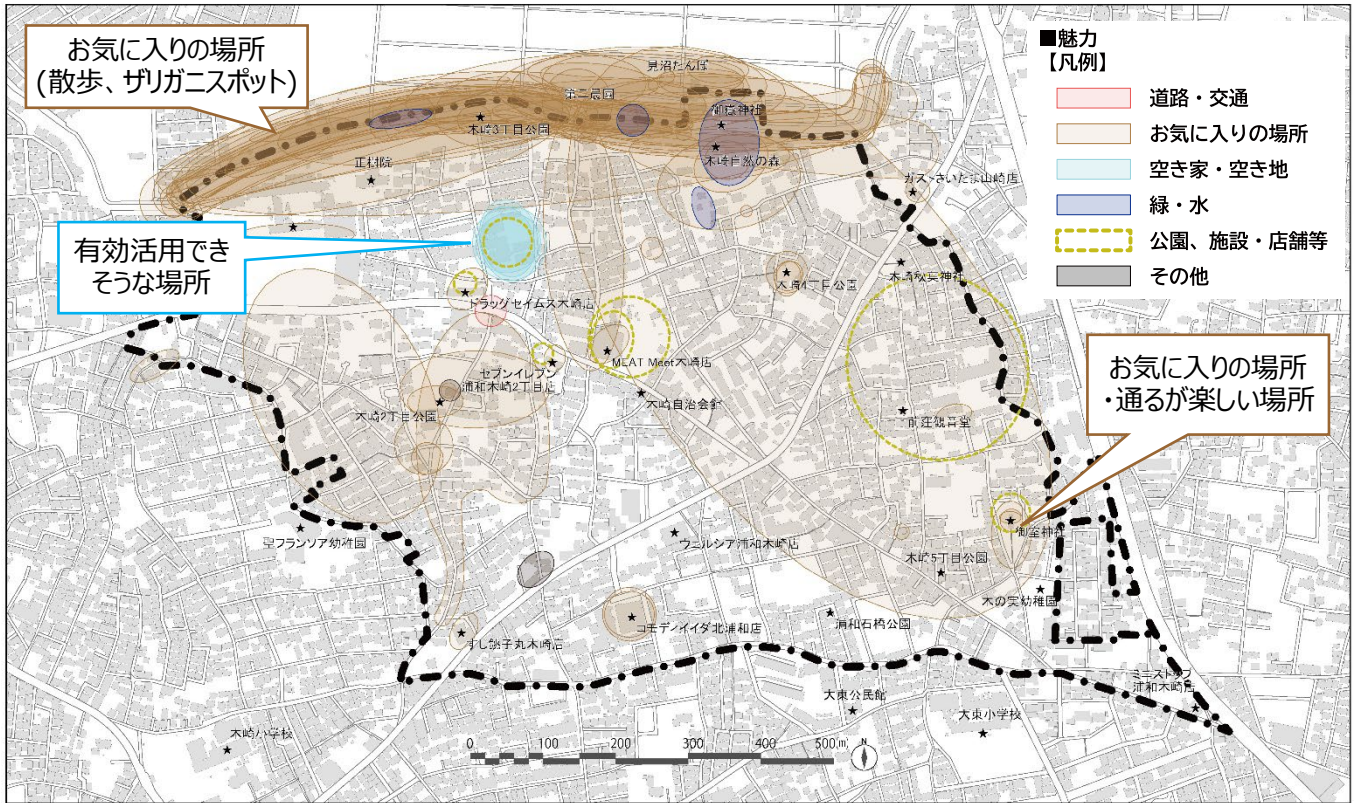
問21 地区の魅力や課題

※回答者 : 529 名、未回答 : 568 名、合計 : 1,097 名

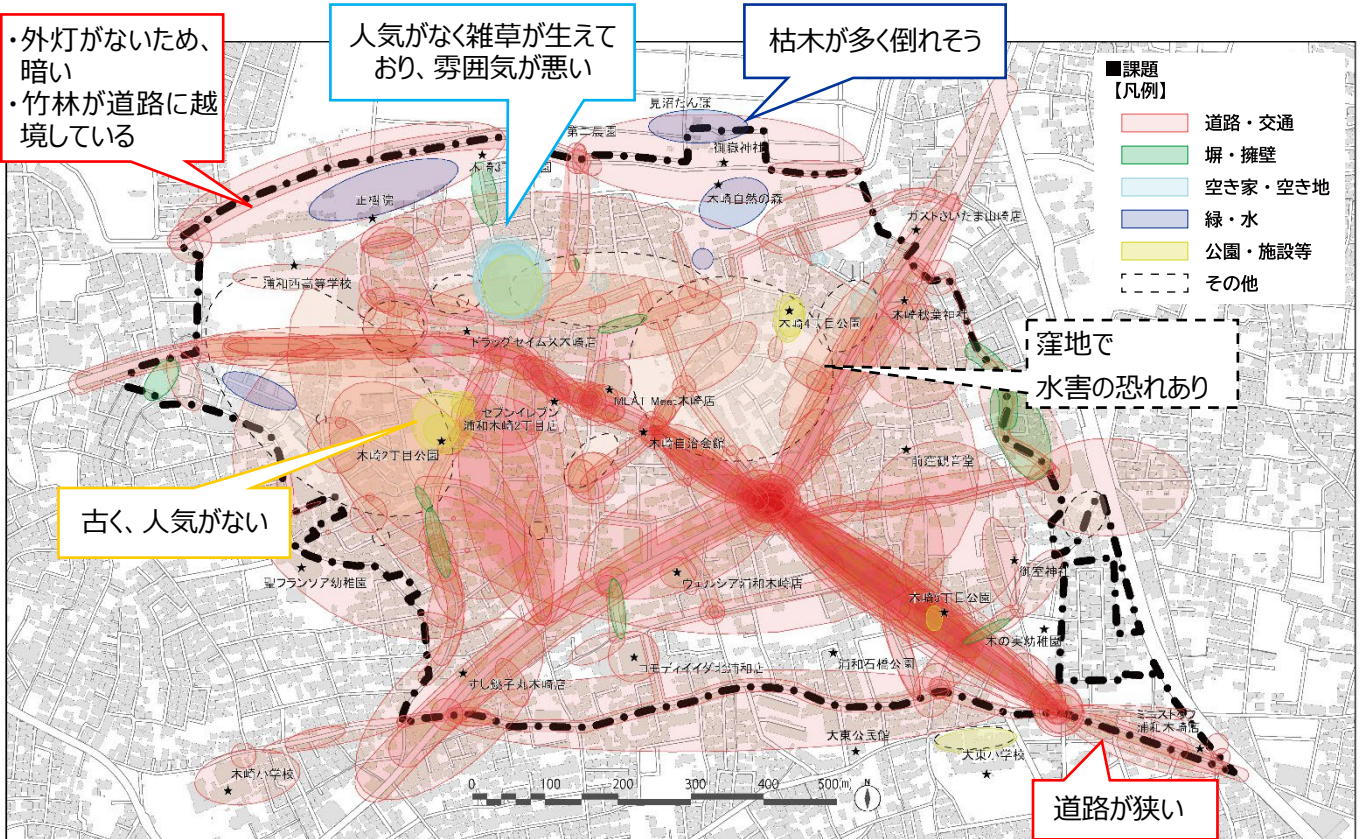




問21 □魅力のみ表示



問21 □課題のみ表示

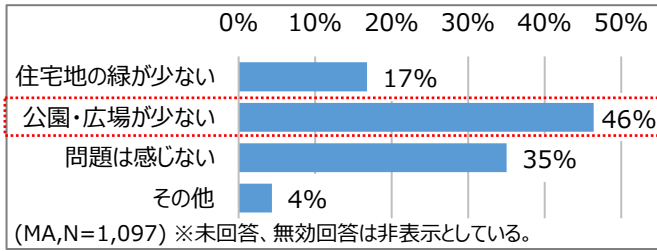




(3) 木崎地区の望ましいまちづくりの方向性について

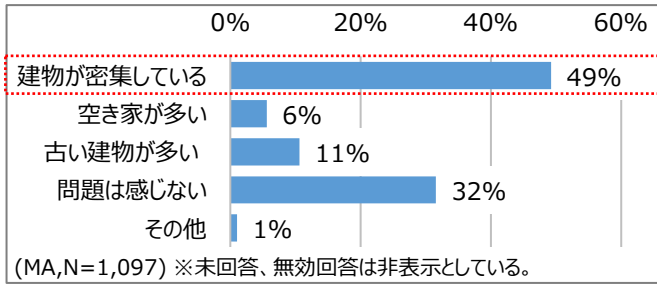
問22 木崎地区の住環境について、問題と感じるものを選んでください。【複数回答】

①みどり・オープンスペースについて



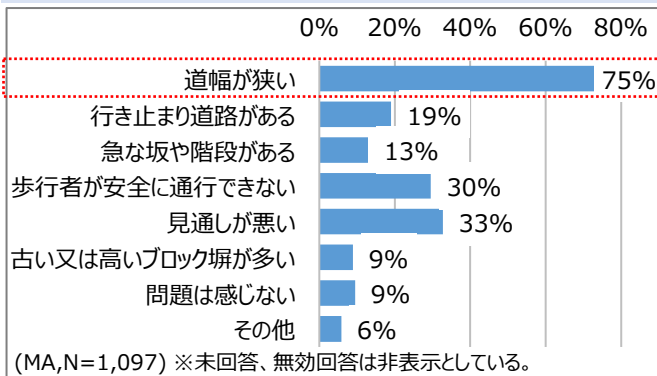
公園や広場を少ないと感じている方が半数近くいる

②建物について



建物が密集していると感じる方が約半数

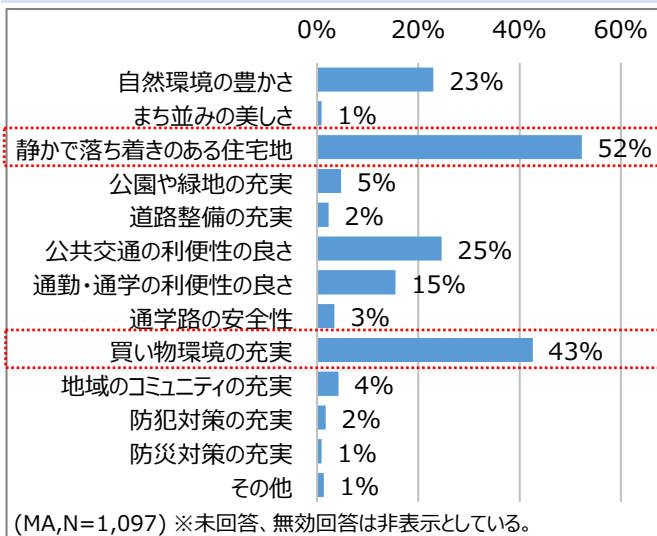
③道路について



道幅が狭いと感じている方が7割以上もいる

見通しが悪い、歩行者が安全に通行できないは約3割

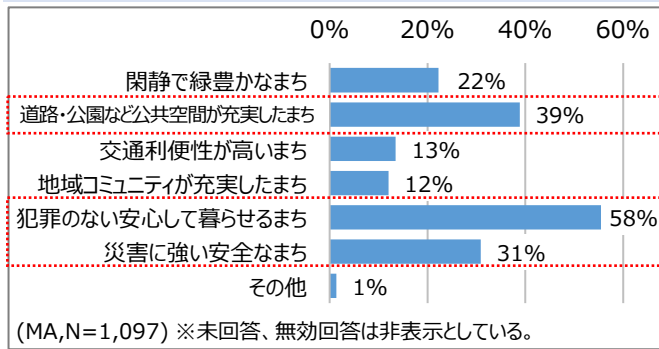
問23 木崎地区の魅力についてどのように感じていますか。【複数回答】



第1位 静かで落ち着いたある住宅地

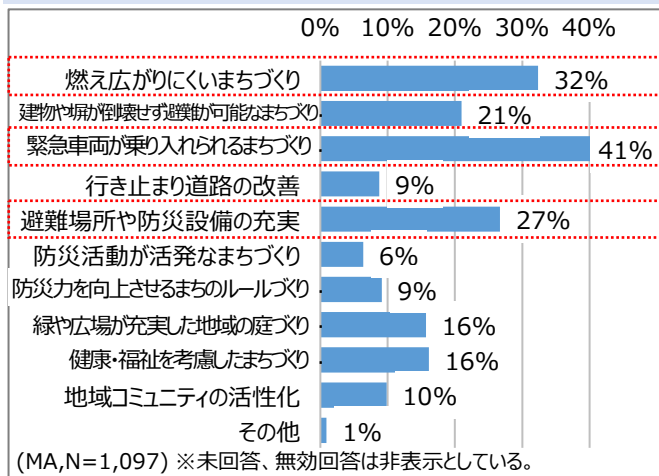
第2位 買い物環境の充実

**問24 木崎地区の魅力高めるためにどの方向でまちづくりを進めればよいと思いますか。【2つまで回答】**



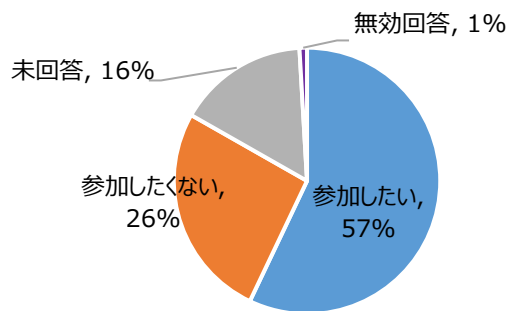
**第1位 犯罪のない安心して暮らせるまち**  
**第2位 道路・公園など公共空間が充実したまち**  
**第3位 災害に強い安全なまち**

**問25 今後まちづくりを進めていく中で、災害に強いまち、良好な住環境を作っていくために必要と思われるものを選んでください。【2つまで回答】**



**第1位 緊急車両が乗り入れられるまちづくり**  
**第2位 燃え広がりにくいまちづくり**  
**第3位 避難場所や防災設備の充実**

**問26 今後、従来の防災の取り組みに加えて、更に安心・安全なまちづくりに取り組んでいく場合、参加していきたいと思いますか。**



(SA,N=1,097)

**今後の安心・安全なまちづくりに6割近くの方が参加したい！**

**(4) その他**

**問27 木崎自治協力会に対して望むことがあれば、自由に意見をご記入ください。**

- ・道路が狭く交通量が多いため、安全に歩けるようにしてほしい
- ・道が暗いため街灯が欲しい
- ・高齢者が多いため、若い人や新しい居住者等と連携できるようにしたい
- ・気軽に相談や話をできる体制にほしい

など

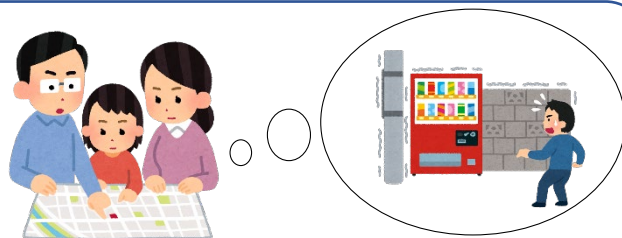


## 防災まちづくりアンケート結果の活用について

「木崎地区防災まちづくり計画」を作成するため、今回のアンケート結果を踏まえて、以下の 3 点の検討を進めて行きます。

### ■ まちの現状の把握と共有化

- 木崎地区が抱えている問題
- 木崎地区が持っている魅力



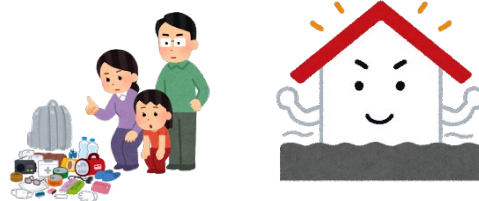
### ■ 目指すべきまちの姿

- 例) 安全・安心で住み続けられるまち  
災害に強い、皆で助け合えるまち



### ■ 防災まちづくりの方向性

- 問題を解決する、魅力を活かすための方向性を検討



防災まちづくりアンケートへのご協力ありがとうございました。

- 木崎地区防災まちづくりアンケート結果の詳細について



木崎自治協力会ホームページ/防犯・防災

(URL : <http://www16.plala.or.jp/kizaki-jichikai/crimeprevention.html>)

アクセスはこちら➡



- 「防災まちづくり方針」について



さいたま市ホームページ

(URL : <https://www.city.saitama.jp/001/011/015/003/004/p071884.html>)

アクセスはこちら➡



さいたま市 防災まちづくり方針 検索

### お問合せ先

- 木崎自治協力会(木崎自治会館)

☎ 電話 : 048-831-4971

📠 FAX : 048-831-4977